

第4回木津川市生涯学習推進計画策定委員会報告書

開催日時 平成25年7月26日（金） 午後1時30分～3時45分
会 場 木津川市役所4階 4－1・4－2会議室
出席者 前平委員長・高原副委員長・岩井委員・川口委員・市川委員・岡田委員・
金井委員・森本委員
（ワーキング委員）木村副委員長・武田博委員・三上委員・森本委員・花田委員・
米田委員・井上委員・渡邊委員
（事務局）太田次長・松田課長補佐

開会挨拶（前平委員長）

皆さんこんにちは。暑い中ご参加いただき、ありがとうございます。先日開催しましたシンポジウムでは、皆様のご協力が無事終了することができました。今回の委員会は6回中4回目、まさにターニングポイントとなるものです。計画の素案も提示されています。皆様のご審議をよろしくお願いします。

議事1 生涯学習推進事業公開シンポジウム開催結果について

- ・事務局から開催内容と参加者アンケート集計結果について報告を行った。

《質疑》

委 員 シンポジウムで先生のお話を聞いて、生涯学習とは小さい子から死ぬまでが対象であるということがよくわかった。また生涯学習の大切さと難しさもよくわかった。

委 員 生涯学習とは一体何かと常日頃おっしゃる方が多い。私はゆりかごから墓場までだと思っている。シンポジウムで各団体の話を聞き、人を集める難しさを痛感しました。

委 員 障害者の方をどうするのか課題が残った。体協では障害者も参加してもらえるよう運動会でも考えています。現在は障害者のみを対象としたものではなく、障害者も一緒に入って一緒にやってほしいという考えでいる。

委 員 当日は所用で欠席したが、活発なシンポだったと聞いています。加茂フェスには14年関わっています。発表者が、今まで考えたこともない生涯学習を意識し、勉強して、今まで意識はしてなかったが生涯学習に取り組んでいたことがわかったと言っていた。その意味でも大きな成果があったと思います。

委 員 各団体の日常の活動が見えてきた。蛙は青い空を見て知識を身に付けている。私も井の中の蛙だが、井の中でいろんな知識を身に付けているんだと感じた。各団体の発表は大変参考になった。

委員 4月の人事異動で大西の後任として今回から策定委員会に入らせていただきます。教育振興基本計画の事務局も担当しています。教育振興基本計画は学校教育に視点を置っていますが、生涯学習推進計画との整合も必要となります。施設面の要望も振興計画に盛り込んでいるので、推進計画にも具体的に盛り込んでもらえればと思います。

委員 発表は初めての機会で勉強の場でもありました。委員長のお話では、委員長のお考えと私の考えがよく似ていることに気付きました。知識だけではなく、自然とのふれあいなど大切なものはたくさんあることがよくわかりました。

委員長 今回のシンポジウムは従来の形ではなく、いろんな意見を聞く場として開催しました。沙龙的な感覚で雰囲気もよかった。内容も、多くの方がそうだと納得するものより、いろんな意見が出て、少しずつれたりするのが一番いいシンポジウムだと思っています。では、このシンポジウムの成果を計画策定に生かしていきたいと思っています。

議事2 生涯学習推進計画素案について

- ・事務局から素案についての説明を行った。

《質疑》

委員長 ワーキング委員の皆さんが汗を流して素案を作成していただきました。これはたたき台ですので、どんどんたたいていいものにしていきたいと思います。まず私の意見ですが、まちを創るの創るを漢字にしたのは素晴らしいと思います。通常はまちづくりとひらがなで書きますので。それと、「育み」や「育む」という言葉は教育振興基本計画はひらがなになっていますので、どちらかに統一する必要があるのかと思います。これはどちらが正解ということはありませんので、好き嫌いも含めて委員さんのご意見をいただければと思います。

事務局 この計画はできるだけわかりやすい言葉でわかりやすい計画にしようという思いで素案作成を行いました。多くの市民に理解していただけるよう、注釈や説明文も必要のない計画にしようというコンセプトです。育むという言葉もひらがなの方がわかりやすいということなら、ひらがなに変更したいと思いますが、いかがでしょうか。

委員長 ひらがなの方がわかりやすいと思います。委員の皆さんに異論はありませんか。では、ひらがなに修正していただきましょう。

委員 この計画を具体化するために年度計画を作って実行していくことになると思うが、この計画だけ見ればそれがわからなく、市民からすれば計画だけ作って何もしないのかという意見もあると思う。年次計画を作成

し、計画的に進めていくことを記載しなくていいか。

事務局 年次計画の記載については、宿題として、ワーキング等で検討させていただきます。

委 員 総合計画が現在見直しの最中であり、これをどこまで盛り込んでいくのか。教育振興基本計画でも中間見直しを踏まえという表現をしている。

委員長 計画の中身としてはこの程度がいいんですか。

事務局 教育振興基本計画との整合を今後も図っていきますので、若干増える可能性があります。

委員長 障害者スポーツのお話がありましたが、計画に表現されています。これはこれでいいですか。障害のあるなしに関わらず参加できるようなというのが世界的な流れです。障害者団体が行うスポーツもあれば障害者も健常者も一緒に楽しむスポーツもあります。

委 員 障害者だけの大会がいいのか、障害のあるなしに関わらず一緒に参加できるものがあるのか。市民対象にすれば障害者も参加できますし。

委員長 障害といっても、障害の程度や種類も違うし、個人の意識も違うので、ひとくくりにはできません。パラリンピックを目指す人もいれば、障害者と思われたくないという人もいます。障害のあるなしに関わらずスポーツイベントへの参加を支援するというような考えはどうでしょう。

委 員 加茂の作業所には80人ぐらい通所しています。年に一度玉入れやソフトボールなどを行っています。最初はボール投げもできない人が、関心を持つとグローブもうまく使えるようになってきます。玉入れでも車椅子の人にボールを渡してあげると、投げられなくても喜んでもらっている。

委員長 人をつなぐということが大事なんです。障害程度の差、人とどうつながっていくか。我々は障害者をどう支援するか考えがちですが、支援することで我々が学ぶことも多いんです。そういうことを書くのもおもしろいのでは。また、インターネットなど情報通信についての記載がないが、なくてもいいですか。

事務局 パソコンについては記載しています。

委 員 木津川市は日本で6つしかないかつて首都があった場所である。それを活かしていく必要があるし、そのような内容を記載してほしい。

委員長 木津川市らしい生涯学習とは何だというのを一歩進めて記載できれば素晴らしいと思います。

委 員 木津川市とは学研都市が1つの特徴。しかし学研に蓄積された知が市民の生活に結びついていないのが現状。

委員長 今の指摘は大事なものです。地の利や歴史・文化をうまく組み込めればまさにローカルな知となる。

委員 現実に市民も学研都市で何を研究され、どんな成果が上がっているかまったくわからない。もう少し情報提供があってもいいのではないか。

委員長 しごと館に京大が入って活用するという話もまだ詳細が決まっていないので、情報がわかれば、またお知らせします。

委員 学研都市は市民の関心も高い。新しい建物や変わった建物が建つと、あれは何の施設かとよく聞かれる。

委員長 どの市町村に置き換えても通用する計画ではなく、木津川市ならではの計画にするためには、具体的な地名を入れるのも1つの方法。

委員 生涯学習は海外でも存在するんですか。障害者の議論もありましたが、世界の流れを参考にすればいいのではないですか。

委員長 生涯学習の考えは世界中にあります。フランスで始まりユネスコから世界中に広まったと言われています。しかしその前から各国独自の生涯学習が行われていました。日本の社会教育は世界の生涯学習とは少し考えが違うものです。障害者の考えは、世界では障害者も共に生きるというのが主流です。以前は、同じレベルの人を集めて同じレベルの学習をという考えが中心でしたが、今は共にという考えに変わってきています。日本独自の特殊性もあるので、外国のものをそのまま持ち込むべきではないものもありますが、参考にはなるでしょう。では時間の都合もありますので、本日の議論をワーキングでもんでいただきたいと思います。今日はとても有益なコメントをたくさんいただき、ありがとうございます。ワーキング作業は大変だと思いますが、木津川市らしい木津川市でなければならない計画策定に向けて引き続きお願いします。

議事3 今後のスケジュールについて

- ・事務局から中間案がまとまった時点で市の政策会議に提案し、その後パブリックコメントを実施することについて提案した、なお、政策会議日程が決まっていないことから10月末をめどとしていることを説明した、（意見はなく承認された。）

議事4 その他について

委員長 1点確認をさせていただきます。教育振興基本計画は親計画となるので、その計画について我々が意見を述べることはできるのでしょうか。

事務局 基本的にはできませんが、ワーキング委員や策定委員として社会教育関係者が入ってますので、何かあればその中で対応させていただきます。

その他 次回策定委員会の開催について

調整の結果、10月11日（金）午後1時30分から決定した。

閉会挨拶（高原副委員長）

本日は長時間になりましたが、熱心にご討議いただき、ありがとうございました。
木津川市らしい計画にしていきたいと思いました。本日はどうもありがとうございました。